

第39回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【女子】 準決勝 B球場 第4試合

太田市立藪塚本町中(群馬県) 3-0 那須町立那須中央中(栃木県)



〈藪塚本町中決勝タイムリーを打った 山田選手〉



〈那須中央中 力投する大島選手〉

平成29年8月19日(土)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
太田市立藪塚本町中学校(群馬県)	0	0	0	0	0	0	0	3		3
那須町立那須中央中学校(栃木県)	0	0	0	0	0	0	0	0		0

【バッテリー】 〈先攻〉穴久保 杏耶 — 和田 ほの香

〈後攻〉大島 萌々子 — 高久 未有

【長 打】 〈本塁打〉

〈三塁打〉

〈二塁打〉

【戦 評】

7回終了まで両投手、そして両チームの集中した守備により、互いにチャンスらしいチャンスをつくれず、スコアボードにゼロが並んだ。タイブレーカーに入ると、先攻の藪塚本町中は、犠打、四球、盗塁により、一死2・3塁とし、7番山田がレフト前へタイムリーヒット。続くバッター須田の内野ゴロの間に2点目。さらに相手内野のバント処理失策により計3点を取得した。後攻の那須中央中は、ランナーを進めるも得点できず、藪塚本町中が試合を制した。

【勝者インタビュー】

監督談

投手のチェンジアップにキレがあり、速球が生きた。また、小技をつなぎ、相手チームのミスを誘うようなプレーができた。次の試合では、大量点を取られないように我慢強く、自分たちのスタイルを貫き通したい。

主将談

ランナーを送れなかったのが点数につながらなかった。タイブレーカーでは、自分たちのスタイルで攻めることができた。2試合連投したエースに勇気をもらった。日本一まであと一勝。これまではポロポロになったこともあったが、ここまで一緒にやってきた仲間と精一杯やりきりたい。

感動！夢舞台！！ 絆を繋げ 九州の地で！